

1年生

# 生徒理解を深める面談ツール

自校の指導ツールを他校の教師と共に検討し、各校の生徒特性に合った形へ改善を図る新コーナー。今回は、近年ますます重要視されている初期指導の際に活用する面談ツールについて検討する。

検討会メンバー



宮崎県立  
延岡星雲高校  
柳井健二  
やない・けんじ



群馬県立  
下仁田高校  
高橋真人  
たかはし・まさひと



富山県立  
富山高専  
金田幸徳  
かねだ・ゆきのり

教職歴23年。同校に赴任して5年目。進路指導部。英語科。「知恵と勇気をふり絞る。研鑽を積む。自他共に大切に出来る生徒を育てる。」

教職歴12年。同校に赴任して6年目。3学年担任。生徒指導部。数学科。「物事に謙虚に、楽しく取り組む大切さを、自らの姿を通して生徒に教えたい。」

教職歴23年。同校に赴任して7年目。主幹教諭。渉外広報部長。英語科。「伯楽にはなれないが、スポットライト係となって、個々の良さを照らしたい。」

## 宮崎県立延岡星雲高校・柳井健二先生 1年生ゴールデンウィーク前後の面談ツール

### ビフォー

整理番号

進路希望調査

選択項目のあるところは、□で囲んで下さい。

1年( )組( )番 出身中学校( )中学校

生徒氏名( ) 保護者氏名( ) (保護者の自署・押印のこと)

進路について興味・関心のあること	自分自身の意見	保護者の意見
中学校での得意・不得意科目	得意科目	不得意科目
中学時代の1日の学習時間(分)	平日	休日
将来つきたい職業や仕事	未定の場合の理由	
現在の進路希望	①進学 ②就職 ③その他	

① 進学希望の場合

希望する進学コース	①国公立大学文系 ②国公立大学理系 ③4年私立大学文系 ④4年私立大学理系 ⑤国公立短期大学 ⑥私立短期大学 ⑦高等専門学校 ⑧各種専門学校 ⑨その他
具体的な希望	学校名( ) 学部・学科名( )
保護者の意見	

② 高校卒業後に就職を希望する場合のみ、記入

希望する職種	①公務員関係 ②販売営業関係 ③製造関係 ④事務関係 ⑤サービス関係 ⑥自営 ⑦その他
希望する地域	①市内 ②県内 ③県外 ④その他
保護者の方の希望	

◆高校生活の抱負を書いて下さい。

※4月10日(入学式の日)に組・番号を記入して担任に提出

進学・就職・その他の中から現在の希望進路を選んだ上で、下の①、②のいずれかを回答する仕組みだが、「進学希望」と「就職希望」の両方の欄に記入してくるケースも見られる。

入学直後の生徒は大学や学部・学科に関する知識が十分ではない。そのため、国公立大を志望しているにもかかわらず、地元の私立大名を書いたり、「宮崎大法学部」などと実在しない学部名を書いたりする生徒もいる。

この時期、生徒や保護者が学校に提出しなければならない書類はとても多い。そのため、家庭内で十分に進路について話し合えないまま提出するケースも少なくない。

狙いと機能

中学生から高校生へ意識の切り替えを促す

宮崎県立延岡星雲高校では、初期指導の面談で使用するツールを「進路希望調査」と名付けて、入学前説明会で配布する冊子にとじ込んで生徒に渡し、入学式当日のHRで回収している。

希望進路を確認することで、中学生から高校生になったという緊張感を持たせ、生徒、保護者双方に意識の切り替えを促したい考えだ。しかし、現在の書式になってから数年が経過しているが、冊子自体を前年度の2月中に作成・印刷するため、これまで内容を十分に吟味する時間が取れなかった。

## 検討

高校生への切り替えを急ぐよりも  
生徒のよりどころを確認すべき?

**柳井** 1年生の初期指導時の面談で使用する「進路希望調査」は、

生徒が高校生へと意識を切り替えるきっかけと、担任の生徒理解の資料として活用しています。しかし、「生徒の人間関係や中学校での様子を知りたい」という思いから、別のツールを活用している担任もいます。



**金田** 本校では、4月は学習スタイルを確立することを優先し、具

体的な大学名を聞くのは、夏以降の個人面談からにしています。



**高橋** 以前、入学式後のHRで、中学校まで自ら積極的に取り組

んだことや、悩みがある時の相談相手などを書かせたことがあります。「**高校卒業後はどうする?と急かすよりは、生徒の心のよりどころや家庭環境を理解したかったのです。**

**柳井** 自己肯定感の低い生徒が少なくないことが本校では課題となつて

います。中学校時代に頑張ってきたことや**自信があることを語らせること**で、**面談を生徒が前向きになる場**に出来るかもしれませんね。

**金田** 入学時にSNSの活用マナーについて指導するのですが、他人を傷つけないようにするためには、自分を知り、自分を大切にすることが不可欠だと私は思います。**自分に自信を持ち、自分を大事にすることが出来れば、相手を尊重し、大切に出来るようになるはず**です。そうした面でも、生徒に自分のよりどころを書かせる効果はあると思います。

**高橋** 私は、生徒に面談シートを全て埋めさせることをあまり重視してはいません。本校には、そもそも書くことが苦手な生徒が多いですし、自分について文字で表現することのためらう生徒もいます。ですから、面談の中で思いを引き出すことが重要です。「**高校生活はどう?」**などとあえて**漠然とした質問を投げ掛け、何を話すかは生徒に任せていま**

す。生徒が話したいことに耳を傾けるといふ姿勢を見せるようにしています。

**金田** アウトプットできる生徒は、面談でも自らどんどん話します。面談ツールは、語りたがらない生徒の思いを引き出すきっかけとして活用しています。また、とにかく全てを書かせようとせず、「一生懸命考えて書けないのであれば、それで構わない」というスタンスで、**書けなかった理由を面談で生徒と一緒に考えるようにしています。**

**柳井** 入学時点で知りたいのは、**志望する大学名よりも生徒の思い**です。例えば、生徒が抱いているのは、地元へのこだわりなのか学問への興味なのかなどを見極めたいですね。

## 課題と解決策

- 1 中学校時代を振り返り、自分のよりどころや自信の源を見つけさせる
- 2 書けないことを受け入れる。書けない理由を面談で掘り下げ、生徒の内面を把握する
- 3 大学や学部・学科についての知識がないこの時点では、進路を考えるベースとなっている生徒の思いを見極める

## 学校プロフィール

## 宮崎県立延岡星雲高校

◎全日制/普通科・フロンティア科/共学/1学年約200人

◎2014年度入試合格実績(現浪計)/国公立大は、横浜国立大、広島大、宮崎大などに36人が合格。私立大は、明治大、同志社大、福岡大などに延べ155人が合格。

## 群馬県立下仁田高校

◎全日制/普通科/共学/1学年約80人/2年次からアドバンスコース、ビジネスコース、カルチャーコースの3コースに分かれる

## 富山県立富山高校

◎全日制/普通科・探究科学科/共学/1学年約280人

◎2014年度入試合格実績(現浪計)/国公立大は、東京大、京都大、名古屋大、金沢大などに214人が合格。私立大は、慶應義塾大、早稲田大などに延べ420人が合格。

検討会で明らかになった課題を踏まえ  
1年生初期指導の面談ツールを改良!  
次ページで紹介します。

\*プロフィールは2015年3月時点のものです

# アフター

富山高校では、4月に配布する「個人面接票」で、ニックネームや星座など、誰もが気軽に書ける項目も設けている。更に、趣味や特技などを書かせることで、面談ツールに対する精神的なハードルを一層下げることが出来る。

「頑張って勉強したい教科・科目」の項目では、得意教科と苦手教科のどちらを挙げるかは生徒に任せる。重要なのは、その教科・科目を頑張りたい理由であり、生徒によってはそこから進路観を探ることも出来る。同様に、希望進路を詳しく聞くよりも、その理由に注目する様式とした。

### 未来づくりシート

1年( )組( )番 名前( )

プロフィール	出身中学校	住所							
	生年月日	ニックネーム							
	趣味	星座							
未来づくりの土台	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自ら取り組んできたことで、一番印象に残っていること、やってきて充実感を覚えたことは何ですか？</li> <li>• 困ったことや悩みがあった時に誰に相談してきましたか？</li> <li>• 中学生と高校生の違いは何だと思えますか？</li> <li>• 長所と短所を自己分析すると……？</li> </ul>								
	長所	短所							
つくりたい未来	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 頑張って勉強したい教科・科目を2つ挙げ、その理由も教えてください。</li> </ul> <table border="0"> <tr> <td>{ 教科・科目名</td> <td>理由</td> </tr> <tr> <td>{ 教科・科目名</td> <td>理由</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 高校生活での目標を1つ教えてください。</li> <li>• 学校行事や部活動など、特に楽しみにしていること、頑張りたいことを教えてください。</li> <li>• 希望している卒業後の進路は？</li> </ul> <table border="0"> <tr> <td>{ 大学・学部などが分かっている人は</td> <td rowspan="2">希望する理由</td> </tr> <tr> <td>{ 出来るだけ具体的に</td> </tr> </table>		{ 教科・科目名	理由	{ 教科・科目名	理由	{ 大学・学部などが分かっている人は	希望する理由	{ 出来るだけ具体的に
	{ 教科・科目名	理由							
{ 教科・科目名	理由								
{ 大学・学部などが分かっている人は	希望する理由								
{ 出来るだけ具体的に									
君の決意	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 高校生活の目標を達成するために、こんなことに挑戦してみたい、頑張りたいということがあれば教えてください。</li> </ul> <p>〈君の目標が実現するように、先生たちもサポートしていきます。一緒に頑張りましょう!〉</p>								

高校入学までを振り返り、自分が主体的に取り組んできた活動や長所を書かせることで、自分のよりどころを意識させる。高校に入ってこれまでの自分を全てリセットするのではなく、自分の持っている良さは高校生活の土台となることを理解させる。

卒業後の進路をどのように聞くかは、その高校の生徒の志望傾向によって様々な工夫が出来る。→ P.35「生徒に高い目標を持たせる仕掛けのアイデア」参照

## 活用の流れ

入学前後に生徒に「未来づくりシート」を配布し、面談前に回収

中学校時代の経験、友人関係や家庭の様子、希望進路の理由などを中心に面談。シート未記入部分については、記入できない・しない理由を探る

面談結果を学年会で報告するなどして、特に気になる生徒を中心に学年団内に周知する

5月の連休明けなど、生徒の体調や心の状態が特に気になる時期には、学年全体で見守り、声掛けを行う

### 改訂後の狙いと機能

中学校時代までの経験が土台となり、高校生活をつくることを伝える

「進路希望調査」を「未来づくりシート」とし、中学校までの経験（印象に残ったこと、充実感を覚えたことなど）を土台にして、高校での未来づくりが始まることを意識させたいと考えた。

最初に「未来づくりの土台」の項目で、中学校時代の状況を聞き、生徒の強みやよりどころ、人間関係を把握。そして、「つくりたい未来」の項目では、大学・学部名よりもそこを志望する理由、更に高校生活全体の目標を聞くことで、生徒の自己肯定感を高めながら、

生徒理解を進められるようにした。

なお、未来づくりシートに教師から保護者への発信欄を設けるかどうかは意見が分かれた。高橋先生からは「保護者に子どもの状況を伝え、学校に対してアンテナを張ってもらいたい。担当がコメントを書くことが負担なら、学年全体で生徒の状況を分析し、学年通信として発信しては？」という提案があった。一方で、金田先生は「5月には保護者会があるので、この時期は生徒との関係性構築のために、より多くの時間を割きたい」という考えだった。保護者へは、学校の方針や生徒・保護者特性に応じて決定すべきだろう。



ビフォー アフター

活用

中学校時代の楽しさや充実感を土台に  
未来をつくり上げることが伝える



**柳井** 中学校までの自分を振り返りながら自己肯定感を高めるといふ狙いであれば、その意図が生徒に伝わるように、「未来づくりシート」「ドリカムシート」など、**心楽しくなるシート名が良いですね。**



**金田** 書きたくなるものや、書きやすいものであればあるほど、生徒の本音が出てきやすいと思います。本校では、個人面接票にニックネームや星座など、気軽に書ける項目を設けていますが、そうした誰もが書ける内容を埋めていく中で、ぼろりと本音がこぼれるようなシートにしたいです。そもそも、つい最近まで中学生だった生徒に、**4月の段階で具体的な志望校を書かせる必要性はあまり高くありません。**むしろ、高校で頑張りたいこと・挑戦したいこと、夢や希望進路の理由を聞いた方が、「未来づくりシート」らしいです。



**柳井** 素直な生徒ほど、「ひとまず国公立大の名前を書いておけば喜ぶはず」と、教師や保護者に受け入れられる志望を書こうとしているのかもしれない。それではいくら志望先を尋ねたところで意味はないです。**知りたいのは、「何をしたいのか」という生徒の思いです。**

**高橋** 中学校時代に教師に認められた経験が少ない生徒ほど、教師に夢を語りたがりません。「未来づくりシート」を回収するまでの期間、様々な声掛けを通して「**先生は夢を応援するサポーターなんだ」と理解させた**いです。「今週は遅刻してないね。頑張っているね」などと声を掛け、気持ち良く学校に来させて、「ここには自分の居場所があるのだ」と感じてもらうことが大切です。

●生徒に高い目標を持たせる仕掛けのアイデア

- 希望している卒業後の進路は？
  - 志望大学いずれかに○  
北海道大・東北大・東京大・富山大・金沢大・名古屋大・京都大・大阪大・九州大・その他( )
  - 理由
- 志望学部系統いずれかに○  
人文・外国語・法・経済・経営・商・社会・国際関係・教育・生活科学・芸術・医・歯・薬・理・工・農・体育・その他( )
- 理由

富山高校の場合、入学直後に志望大名を詳しく聞くことはしない。6月以降に配布する志望調査票では、生徒に高い目標を意識させるため、志望者が多い難関大の名前をあらかじめ記載しておき、志望する大学に○を付けさせるようにしている。上記のような工夫により、難関大志望を表明することへの抵抗感を軽減することが出来るだろう。

**金田** 本音を引き出すのは、シートではなく面談ですから、書けないことを責める必要はないと思います。とはいえ、書くことを求めることは悪いことではありません。**「高校では、自分の考えを論理的に説明する力が求められる」と生徒に覚悟させることはとても大事です。**

**柳井** 若手の頃は、こうしたシートに記入できていない箇所があると、「なぜ書いていないのか」と厳しく指導していました。しかし、「**書かない」ということも生徒のメッセージの1つであり、生徒理解の材**



**料**だという意見には、納得感があります。以前、先輩の先生に「面談では沈黙にも意味があるんだよ」と言われたことがあります。全てを生徒のサインとして受け止めることが大切なのだ改めて実感しました。また、まずは生徒の土台となつている中学校時代を振り返らせ、それを教師と共有することで、生徒に自信を持たせるという考え方には、正直、目から鱗が落ちる思いでした。自校に持ち帰って、どう取り入れるか検討します。